



もり 森の仕事ガイダンス

11月13日(土)、東京国際フォーラムで森林・林業に関心を持つ新卒・転職・就職氷河期世代の方々に対象に就業相談会「森林の仕事ガイダンス」が開催されました。

「森林の仕事ガイダンス」は、林野庁補助事業の実施主体である全国森林組合連合会が、新たな林業の担い手を確保・育成するために行っている就業相談会です。平成15年度からスタートした「緑の雇用」事業は、「緑の雇用」を通して担い手となった林業従事者が全体の約20%を占めるなど、林業への新規就業者数の増加により日本の林業の未来に大きく貢献しています。

今年は9月に名古屋で開催されたのを皮切りに、福岡・大阪・東京の4都市で順次開催され、多くの方が来場されました。会場では、都道府県ごとにブースが設けられ、現地での生活や林業に関する情報、就業までの流れについての説明や相談が行われました。またコロナ禍での開催を考慮し、会場は事前予約制にすることで密を避け、衝立や体温測定、WEB相談などを導入することで感染予防対策を徹底しました。



総合相談ブース

先輩フォレストワーカーからの就業の経緯や抱負などの発表

千葉県森林組合 味岡 文彦 さん

元々はイベント運営の仕事をしていましたが、昔から第一次産業に興味があり、林業をやってみたくという思いが年々強くなり転職を決意しました。千葉出身のため地元で働きたいと思い、千葉県森林組合連合会が主催する林業の講習会に参加しました。講習会では実際に山で働く人の様子を見て、さらに興味を持つことができ、挑戦したい気持ちが強くなりました。

二年目を迎えた今、収入面では前職よりも減りましたが、その分時間にゆとりができ、林業に従事したことによる生活面での不便は感じたことはありません。今後は林業に携わる仕事をもっと学ぶとともに、現場だけでなく山を管理する側の仕事もできるようキャリアアップしていければと思っています。

有限会社山一園 唐鎌 泰紀 さん

私は土木や建築系の専門学校を卒業し、造園の会社に勤めた後、造園と林業を兼業している家業に戻りました。最近、全国的に深刻な問題になっているナラ枯れを食い止める仕事に注力しています。林業の魅力は、チェーンソーで自分の思い描いたように木を伐ることができたときの満足感です。また時間に余裕を持つことができる仕事なので、自分の時間を確保できてプライベートを楽しむのも林業の大きな魅力の一つです。

林業には我流が通じません。会社の指示や親方のアドバイスをしっかり聞き、自身で考えて安全を確保することが大切です。また、林業はアウトドアや自給自足など生活面に直結する仕事のため、仕事とプライベートを充実させたい方にはとてもおすすめの職場です。

東濃ヒノキ白川市場協同組合 松瀬 乃彩 さん

農業高校出身の私は、在学中から山で働くことを目指していました。卒業後は、若手の林業従事者の教育機関である岐阜県立森林文化アカデミーに入学しました。今の職場に就職を決めたのは、班長をはじめとする作業班の方々の年齢が若く、話しやすい雰囲気だったからです。また、現場で働けなくなった場合でも隣接している市場で働ける点も魅力的でした。

林業の仕事を始めて5カ月、チェーンソーのメンテナンスの難しさや安全対策の大切さを日々感じています。そうした大変さもありますが、優しく声をかけてくれる先輩方や丁寧な指導をしてくれる班長のお陰で自分自身の成長を実感しています。実際に山で働く女性には私一人ですが、働きやすい職場で安心して仕事をすることができています。

東濃ヒノキ白川市場協同組合 杉山 珠風 さん

私は工業高校を卒業し、ベッドの製造工場で4年間働いていました。林業に興味を持ったきっかけは、映画『WOOD JOB!』です。それまで林業という職業を知らなかったが、アウトドアが趣味だった私は自然の中で働けることに魅力を感じました。その後、一念発起し、給付金をもらいながら岐阜県立森林文化アカデミーに入学しました。実習の中で、田舎暮らしに憧れていた私にとって理想的な岐阜県白川町にある今の職場と出会い、親方の一つひとつ丁寧な木を伐るといいう仕事の姿勢に惹かれ、移住を決めました。

林業は、危険できつい仕事ですが、間伐などの環境保全を通して、その地域で生活する人々の暮らしを守っていることにやりがいを感じる楽しい仕事です。



WEB相談の様子



千葉県ブース